

福井工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	歴史
科目基礎情報					
科目番号	0034		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	環境都市工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材					
担当教員	手嶋 泰伸				
到達目標					
近現代ヨーロッパ史の概略を説明し、現代的な諸問題をその知識をもとにして考察できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	授業内容を正しく記載したうえで、その論理展開にも工夫がみられる。		授業内容を正しくレポートに記載することができる。		授業内容を正しくレポートに記載できない。
評価項目2	適切に調査方法を選択したうえで、適切なまとめを行なうことができる。		適切に調査方法を選択して、レポートを提出することができる。		適切な調査方法の選択と、それによる調査内容のまとめができない。
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	国際社会で活躍できる技術者となるために、現在の社会を世界レベルで歴史的に認識できるようになる。特に、現在の社会が依拠する資本主義・国民国家観・国際秩序がどのように形成され、それらがどのように現在の社会を形作っているのかを理解し、民族問題・経済格差・国家間紛争といった諸問題について、歴史的に説明できるようになる。なお、ドキュメンタリー鑑賞の機会も多く設け、今後歴史を自学するための素地も養う。				
授業の進め方・方法	資本主義や現在の国家観・国際秩序の形成と、それらが社会にもたらした変化という点に絞って、近現代のヨーロッパ史を概観し、そのうえで現在の国際社会における諸問題を歴史的に解説する。授業は一定程度の時期ごとに、分野別に概説する。前期は戦前・戦中期を、後期は戦後期を扱う。なお、授業は毎時間配布されるプリントで行う。教科書は予習・復習に用いること。				
注意点	定期試験は行わず、課題によって評価する。全ての課題を提出しなければ合格とはならない。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	前期ガイダンス/近代ヨーロッパの形成① 近代ヨーロッパの特質と形成/教会支配の終焉と近代の始動	主権国家体制の成立について説明できる	
		2週	近代ヨーロッパの形成② 30年戦争と主権国家体制の成立	主権国家体制の成立について説明できる	
		3週	近代ヨーロッパの形成③ ヨーロッパの絶対主義国家と啓蒙戦争国家	現代的政治・経済制度の成立について説明できる	
		4週	近代ヨーロッパの形成④ 18世紀のイギリス～資本主義・産業革命・アメリカ独立～	現代的政治・経済制度の成立について説明できる	
		5週	近代ヨーロッパの形成⑤ ナポレオン戦争とウィーン体制	ウィーン体制について説明できる	
		6週	近代ヨーロッパの形成⑥ ウィーン体制の崩壊とビスマルク体制	ウィーン体制について説明できる	
		7週	ヨーロッパの世界進出① ヴィクトリア女王期のイギリス	近代の国際秩序について説明できる	
		8週	前期中間まとめ ヨーロッパの近代化		
	2ndQ	9週	ヨーロッパの世界進出② アメリカの経済発展と欧米列強のアジア・アフリカ進出	近代の国際秩序について説明できる	
		10週	近代ヨーロッパの文化 西洋近代科学の発展	社会と技術の影響関係について説明できる	
		11週	グループ発表 西洋近代科学の発展について	社会と技術の影響関係について説明できる	
		12週	第1次世界大戦① 第1次世界大戦の勃発	第1次世界大戦について説明できる	
		13週	第1次世界大戦② 第1次世界大戦の終結と「近代」の意味	第1次世界大戦について説明できる	
		14週	第1次世界大戦③ 映像でみる第1次世界大戦	第1次世界大戦について説明できる	
		15週	前期まとめ 近代ヨーロッパの意味		
		16週			
後期	3rdQ	1週	第1次世界大戦後の国際秩序① ヴェルサイユ体制と国際連盟	戦争違法化体制について説明できる	
		2週	第1次世界大戦後の国際秩序② 大戦後の国際秩序と各国の国内状況	戦争違法化体制について説明できる	
		3週	現代的文化観の成立① アメリカにおける大衆消費社会の成立	20世紀におけるアメリカの重要性について説明できる	
		4週	現代的文化観の成立② 1920年代のアメリカの経済発展	20世紀におけるアメリカの重要性について説明できる	
		5週	第2次世界大戦① 世界恐慌と深まる世界の対立	戦争違法化体制について説明できる	
		6週	第2次世界大戦② 第2次世界大戦	第2次世界大戦について説明できる	
		7週	第2次世界大戦③ 映像とともに考える第2次世界大戦①	第2次世界大戦について説明できる	
		8週	後期中間まとめ 第2次世界大戦の意味		

4thQ	9週	第2次世界大戦 映像とともに考える第2次世界大戦②	第2次世界大戦について説明できる
	10週	現在の歴史的意味① 冷戦と現在の国際秩序	冷戦について説明できる
	11週	現在の歴史的意味② パレスティナ問題	パレスティナ問題について説明できる
	12週	現在の歴史的意味③ ヨーロッパの統合と世界同時不況	グローバル経済について説明できる
	13週	現在の歴史的意味④ ウクライナ問題と国際政治におけるロシア	米ロ対立について説明できる
	14週	現在の歴史的意味⑤ 宗教と暴力	宗教と暴力について歴史的な理解を得る
	15週	後期総括 現代の世界情勢を歴史的に考える	
16週			

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地歴	産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。	4	
				人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、地理的または歴史的観観点から理解できる。	4	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0